学校番号	４０２

令和３月年度　芸術科

教科	芸術	科目	書道Ⅱ	単位数	１単位	年次	２年次
使用教科書	書Ⅱ（光村図書）						
副教材等	ペン習字の基礎　（教育図書）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・書道Ｉで学んだ基礎を踏まえた上で豊かな表現力を身に付けましょう。
・書道が日本の芸術、伝統文化であることを理解しましょう。
・作品制作では伝統的な表現形式とともに漢字仮名交じりの書等、表現の多様性を理解し身につけましょう。

２　学習の到達目標

書道の幅広い活動を通して、生涯にわたり書を愛好する心情を育てるとともに、感性を磨き、これを高め、書写能力のさらなる向上を図り、表現と鑑賞の能力を伸ばし、書の伝統と文化についての理解を確かなものにする

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a;書への関心・意欲・態度	b;書表現の構想と工夫	ｃ；創造的な書表現の技能	ｄ；鑑賞の能力
観点の趣旨	書の創造的活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に多大な関心を持って、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとする。	書表現の諸要素を感受し、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。	創造的な書表現をするために、書の効果的な表現の技能を身に付け表している。	文字や書の伝統と文化にて幅広く理解し その価値を考え、書のよさや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	観察 レポート ワークシート 提出作品	観察 レポート ワークシート 提出作品	観察 レポート ワークシート 提出作品	観察 レポート ワークシート 提出作品

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	臨書の復習(漢字の書―楷書)	・一年次に学習した古典の技法を復習する。 ・楷書の半紙作品の制作 ・様々な楷書の特徴を確認する。	○	○	○	○	a:各書体の美とその表現技法について関心を持ち、表現や鑑賞に意欲的に取り組もうとしている。 b:各書体の基本的な用筆方法を理解し、表現を工夫している。 c:各書体の特徴を表現し得る技法を身に付け表している。 d:代表的な古典のよさや美しさを味わっている。	観察 提出作品5
	漢字の学習(篆書)	・篆書についての歴史・基本的な特徴を学習する。 ・代表的な古典作品を鑑賞する。 ・篆書の用筆法、運筆法を学習する。	○	○	○	○	a:篆書の特徴を理解し、その表現や鑑賞に意欲的に取り組もうとしている。 b:逆筆・蔵鋒・中鋒などの用筆法を理解し、表現を工夫している。 c:字形・分間・余白などを理解し、篆書の特徴を表現する用筆法を身に付け表している。 d:代表的な古典のよさや美しさを味わっている。	観察 レポート 提出作品
	漢字の学習(草書)	・草書について歴史的な概略を理解する。 ・代表的な古典作品を鑑賞する。 ・草書の用筆法・運筆法・結構法・字形のとり方を学習する。	○	○	○	○	a:草書の特徴を理解し、その表現や鑑賞に意欲的に取り組もうとしている。 b:草書の用筆法や省略された筆使いを理解し、表現を工夫している。 c:順筆・逆筆・筆の弾力を利用する用筆方法を身に付け表している。 d:草書について理解し、そのよさや美しさを味わっている。	観察 ワークシート 提出作品

	仮名の学習	・仮名の美の書道的意義とびの展開について理解する。 ・代表的な古典を鑑賞する。 ・連綿・行書き・散らし書きについて理解する。	○	○	○	○	a:仮名の特徴を理解し、その表現や鑑賞に意欲的に取り組もうとしている。 b:仮名の用筆法を理解し、表現を工夫している。 c:直筆・逆筆など小筆の先を利用する用筆法を身に付け表している。 d:仮名について理解し、そのよさや美しさを味わっている。	観察b 提出作品
	漢字の学習(隷書)	・隷書について歴史的な概略を理解する。 ・隷書の代表的な作品を鑑賞する。 ・隷書の用筆法、運筆法結構法、文字のまとめ方について理解する。 ・相互鑑賞会	○	○	○	○	a:隷書の特徴とその表現技法に関心を持ち、積極的に表現技法を高めようとしいぇいる。 b:隷書の用筆法を理解し、表現を工夫している。 c:隷書の特徴を表現するための用筆法を身に付け表している。 d:日常生活の中にある隷書に関心を持ち、そのよさを味わっている。	観察 ワークシート 提出作品
後期	作品制作	・様々な表現の工夫 ・楷書・行書・草書・篆書・隷書の中から選択する。 ・漢字仮名混じりの作品も制作する。 ・作品に落款を入れ　押印し完成させる。	○	○	○	○	a:五書体の美とその表現技法について関心を持ち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている。 b:各書体の用筆法を理解し、表現を工夫している。 c:多様な表現ができる用筆法を身に付け表現している。 d:代表的な古典に学び、そのよさや美しさを味わっている。	観察 提出作品

	暮らしの中の書	・年賀状 ・ペン字	○	○	○	○	a:細字の美に関心を持ち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている。 b:年賀状の基本的な表現方法を理解し、自らの意図に基づいて工夫している。 c:基礎的・基本的な細字や仮名の技法を身に付け表している。 d:暮らしの中に書を生かすことを理解し、そのよさや美しさを味わっている。	観察 提出作品
	作品制作	・作品を制作する。 ・色紙作品を制作する。 ・相互鑑賞会 ・作品に押印する。	○	○	○	○	a:文字、語句の選定、完成にいたる創作活動について関心を持ち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている。 b:作品の意図を明確にし、表現をくふうしている。 c:作品の意図を明確にするための技能を身に付け表している。 d:互いの作品を鑑賞し、そのよさや美しさを創造的に味わっている・	観察 レポート 提出作品

※表中の観点について　a;書への関心・意欲・態度　　b;書表現の構想と工夫
c;創造的な書表現の技能　　d；鑑賞の能力

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。